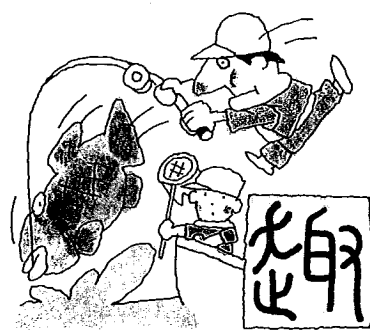


# 趣

おん シュ  
おもむき

15画  
キ 走 趣 趣 趣

【なりたち】 走と取との会意形声字。物を取ろうとして走ることを表した字。「急いで行く」こと。「おもむく」こと。また、「目指す所・心のおもむく所」の意味で、「おもしろみ・風情・風流」の意味に使う。



【いみじゆく】  
▼おもむく。目指して行く。  
▼おもむき。おもしろみ。  
趣向：①物事をする時につけ加えるおもしろい工夫。  
②心の

用例趣向を凝らす。②心のおもむく所。

趣旨：物事をする時の中心的なおもむき。目的。  
趣味：①物事から感じ取られるおもむき。味わい。また、

それを感じ取る能力。②仕事でなく、自分の楽しみとしてする物事。用例父の趣味はつりです。

雅趣：風雅なおもむき。

情趣：おもむき。しみじみとした味わい。

妙趣：言うに言われない、優れたおもむき。

野趣：洗練されたおもむきではなく、素朴な味わい。

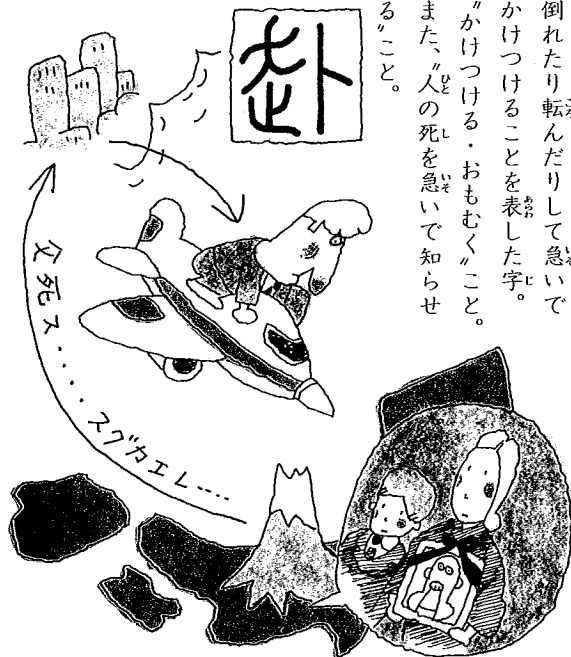
よみかた 趣意・興趣

# 赴

おん フ  
おもむく

9画  
一 十 去 赴 赴

【なりたち】 仆(ふ) (倒れる)の意味のトと走との会意形声字。倒れたり転んだりして急いでかけつけることを表した字。「かけつける」こと。「おもむく」こと。また、「人の死を急いで知らせる」こと。



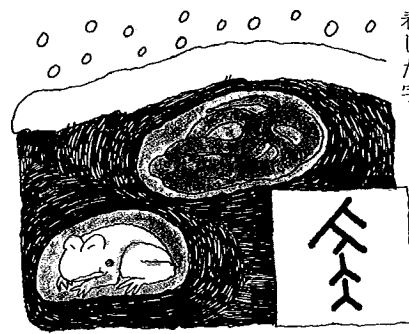
【いみじゆく】  
▼かけつける。おもむく。  
赴任：任地におもむくこと。  
急いで任地(任務に就く土地)にかけつけるといいう意味の言葉。  
▼人の死を急いで知らせる。今は、「訃」の字が一般に使われる。

# 冬

おん トウ  
ふゆ

5画  
夕 冬 冬 冬

【なりたち】 旧字体は冬。止(足)の下向きの形で「くだる」意味の冬と、氷の意味の「ゆ」との会意形声字。一年の終わりに近づいて氷の張る「ふゆ」を表した字。



【いみじゆく】

▼ふゆ。

冬季：冬の季節。冬。

冬至：冬の至りという意味の言葉で、一年で最も日照時間の少ない日。十二月の二十

二・三日ごろ。 反夏至

冬眠：へびやクマなどが穴や土の中で、眠ったような状態で冬を越すこと。

立冬：暦の上で冬が始まる最初の日。十一月八日ごろ。

「立」は出発の意味。

厳冬：寒さの厳しい冬。

暖冬：例年より暖かい冬。

初冬：陰暦十月のこと。冬になつたばかりの月。

仲冬：陰暦十一月。冬のまんなかの月。

晩冬：陰暦十二月。

よみかた 冬期・冬木立・冬将軍・冬空・冬鳥・冬物・冬山・越冬・真冬

# 夏

おん カゲ  
なつ

10画  
一 一 百 夏 夏

【なりたち】 頭の意味の百と、足の意味の又との会意字で、頭の大きい中国人を表したものの。転じて、「立派・盛ん」の意味に使われ、一年で最も草木の盛んな季節の「なつ」を表すようになった。



【いみじゆく】

▼なつ。

夏季：夏の季節。夏。

夏期：夏の期間。夏の間。

夏至：一年のうちで最も昼の時間が長い日。六月の二十

二・三日ごろ。 反冬至

立夏：暦の上で夏が始まる最初の日。五月五・六日ごろ。

盛夏：夏の暑い盛り。真夏。

初夏：陰暦四月のこと。孟夏(めい)ともいう。

仲夏：陰暦五月のこと。

晩夏：陰暦六月のこと。季夏ともいう。

よみかた 夏枯れ・夏作・夏鳥・夏場所・夏負け・夏休み・春夏秋冬・常夏・真夏

# 夏

冬 夏